

特集 コープ商品のマークについて



「はばたき」では、コープ商品を紹介しています。そのことから、コープ商品はどのような商品なのかという質問が寄せられています。

今月はコープ商品についているマークコープ商品についてお伝えします。

「いつから」あるのかと「どうゆうもの」があるのか簡単にお伝えしたいと思います。

◆コープ商品っていつからあるの？

コープ商品第一号は1960年に誕生した「CO-OP生協バター」です。コープ商品は、始め組合員に安定的に安い商品を提供することを目的に開発されましたが、その時に問題となっていたこと（食品の安全性、環境問題など）に対応した食品はもちろんのこと、食品以外にも洗剤や化粧品といったものも開発されています。

そのため、コープ商品の中には、今では、世の中の当たり前になっ



大人気の生協バター。1960年の発売当時は箱が青かったそうです。

◆コープ商品には、どのようなものがあるの？

コープ商品に様々なロゴがついているのを見えると思います。コープ商品の基本的な商品には下図のブランドロゴがつけられています。



基本的なロゴマークの他に、それぞれの商品の特徴やコンセプトがわかりやすいようにマークが表示されています。マークにはこれら種類があるので探してみてください。



「産地指定」(オレンジ色のマーク) 主要な原材料に、産地や栽培方法が明確な国産素材を使用した商品

に付けられています。

「健康配慮」(ピンク色のマーク) 健康に配慮した商品に付けられています。

「コープクオリティ」

おいしさを求めて①原料や製造方法などおいしさの理由が明らか。②他の商品との違いが明確③100人規模の組合員モニターの8割以上がおいしいと評価、という基準があり、これらを満たした商品がコープクオリティです。



「きらきらステップ」

「赤ちゃんになにを食ばさせて良いかわからない」、「手軽に栄養を取らせたい」「離乳食期以降向け」、「幼児食期向け」の商品で、子育て世帯を応援する商品です。また、歯の生えそろう3歳〜6歳頃のお子様を対象とした「きらきらキッズ」もあります。



「7品目を使わないシリーズ」食物アレルギーを引き起こす物質としてお悩みの多い、特定原料7品目（卵、乳製品、小麦、そば、ピーナッツ、えび、かに）を使わない商品です。複数の食物アレルギーを持つ方にも選びやすい商品です。



「ヘルシーコープ」

レシピと商品の提案で健康的な食生活をサポートする取り組みで、商品のマークとしてタンパク質やミネラルなどの栄養素、野菜や大豆が手軽にとれる商品に「手軽にとれる」。カロリーや塩分などを減らしてもおいしさは減らさないことを目指した「おいしく減らす」の2つのマークがあります。



～コープ商品の始まり～

コープ商品の誕生した1960年、日本は高度経済成長期の只中でした。経済が豊かになっていく一方で、インフレや公害、メーカーによる商品価格の管理などが、消費者を悩ませていました。当時生協では管理価格から消費者を救おうと、安定的に安い商品を提供することを目指していました。そのような中、生乳の生産者組合である全国酪農農業協同組合と共同仕入れを行うことで、1960年コープ商品第一号となる「CO-OP生協バター」が誕生します。

1966年には、微生物に分解されにくく河川での発泡や手荒れの原因となっていたABS（分岐鎖型アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム）不使用の衣料用洗剤「CO-OPソフト」が誕生しました。「CO-OPソフト」の開発から、コープ商品の開発に組合員さんが直接参加するようになりました。

商品をご利用の際は、これらのマークを目印にご利用してみてください。また、SDGsの目標達成に向けた取り組みとして、環境保全のための認証取得やプラスチック使用量削減を目標として「コープのエシカル」が行われています。

そのため「海のエコラベル」などの認証をうけ環境に配慮した商品であること示すマークや商品の利用が産地の保全や社会的な取り組みへの募金につながることを表すマークもあります。